

【長崎市長崎学研究所活動報告】

一 長崎市長崎学研究所について

設 立：平成二八年四月一日

場 所：長崎歴史文化博物館研究室内

(〒八五〇・〇〇〇七、長崎市立山一・一・一)

連絡先：電話番号〇九五・八一八・八三八八

FAX 〇九五・八一八・八三七七

E-mail: nagasakigakukenkkyu@city.nagasaki.lg.jp

二 職員体制

所長、係長、学芸員一人、会計年度任用職員二人の計四人で活動

所 長：赤瀬 浩 (あかせ ひろし)

係 長：徳永 宏 (とくなが ひろし)

学芸員：入江 清佳 (いりえ さやか)

会計年度任用職員：下村 美夕紀 (しもむら みゆき)

三 事業内容

① 調査研究事業

調査研究活動対象施設

- ・市内個人宅 (令和三年五月三一日)
- ・料亭青柳 (令和三年六月四日)
- ・長崎市秘書課 (令和三年五月二七日)
- ・長崎市消防局 (令和三年六月九日)
- ・長崎市中央公民館 (令和三年七月二〇日)
- ・林家木久扇氏聞き取り (令和三年八月三日)
- ・市内個人宅 (令和三年八月六日)

- ・長崎市野口彌太郎記念美術館 (令和三年一月九日)
- ・市内個人宅 (令和三年二月一五日)

② 普及啓発事業

(一) 長崎市長崎学研究所紀要『長崎学』

年に一回、長崎学に関連する研究論文集を刊行・公開する。内容は、長崎市長崎学研究所紀要『長崎学』第六号掲載のとおり。

(二) 長崎学研究発表会

長崎学に関する研究成果の公開を目的として、研究成果発表会を実施、四人が研究発表した。報告後、各人の研究内容については、当該分野に造詣が深い大学教員による、一括した形での総括・講評を行った。

日 時：令和四年二月一日 (金・祝) 一三時〇〇分～一六時四〇分

場 所

所：長崎歴史文化博物館一階ホール

研究報告：①中村 秀汰氏 (長崎県立大学佐世保校地域創造学部 公共政策学科3年生)

②宮又兵衛の暗殺と対馬藩

②金 成根氏 (長崎純心大学人文学部講師)

「日本・中国のミゼリコルディアについて」

③田中 学氏 (長崎市役所文化観光部文化財課主事)

「考古学からみた近世港湾都市長崎の発達過程」

④吉良 史明 氏 (長崎大学教育学部 准教授)

「近世後期長崎における異文化融合の内実」

講評：片岡 瑠美子氏 (長崎純心大学長)

参加人数：三五人 (オンライン)

(三) 長崎学ネットワーク会議理事会

に関する意見交換

【別表一】長崎学ネットワーク会議理事名簿

長崎学研究所を拠点として大学、博物館、郷土史研究団体、長崎県をはじめとしたネットワークを構築する。各団体間の連携と協働を目的として、年六回「長崎学ネットワーク会議理事会」を開催した。

・第一回理事会

日 時：令和三年四月八日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席：一三団体（ネットワーク構成団体：一三団体）
内 容：構成団体の人事異動及び動向報告、長崎県郷土資料センター
建設工事に伴う諸問題に関する意見交換

・第二回理事会

日 時：令和三年六月三日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席：一四団体（ネットワーク構成団体：一四団体）
内 容：各団体の主催行事について情報交換

・第三回理事会

日 時：令和三年八月五日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席：一四団体（ネットワーク構成団体：一四団体）
内 容：各団体の動向報告、長崎市歴史民俗資料館資料、長崎県郷
土資料センターの機能に関する意見交換

・第四回理事会

日 時：令和三年十月一四日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席：一二団体（ネットワーク構成団体：一二団体）
内 容：各団体の動向報告、長崎市歴史民俗資料館資料整理、長崎
県郷土資料センターの機能、長崎歴史文化博物館レファレンス

・第五回理事会

日 時：令和三年十二月二日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席：一二団体（ネットワーク構成団体：一二団体）
内 容：各団体の動向報告、長崎市歴史民俗資料館資料整理、長崎歴
史文化博物館から郷土資料センターへの刊本移管に関する
意見交換

・第六回理事会

日 時：令和四年二月三日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席：一一団体（ネットワーク構成団体：一一団体）
内 容：各団体の動向報告、長崎歴史文化博物館から郷土資料センタ
ーへの刊本移管、木村理事が時代考証を担当したNHK時代
劇「わげもん」に関する意見交換

(四) 長崎学ネットワーク会議公開学習会

長崎学ネットワーク会議団体の理事、会員及び学生を含めた長崎学ネ
ットワーク会議構成員を対象に、日頃の研究成果を報告・還元する機会
を設ける。

最新の研究について講師を招聘し、その成果を共有することとし、長
崎学の深化、振興及び後継者の育成につなげてゆく。

なお、公開学習会については、長崎学の普及啓発の一環として、右の
参加資格者に加え、広く一般からも出席を募ることとしている。

令和三年度は合計五回の公開学習会を開催した。

・第一回 公開学習会

…七人

題 目…長崎の遠い記憶―四五〇年前をふり返る
日 時…令和三年五月一日(金) 一八時〇〇分～二〇時〇〇分
会 場…オンラインで開催

参加費…無料

講 師…増崎 英明 先生(佐世保市総合医療センター理事長兼院長)
概 要…長崎開港という出来事が長崎の町にどのような影響をもたら
し、現在の我々が暮らす街へとつながっていったのかについ
て、長崎大学病院病院長や長崎大学附属図書館長を歴任され
文学にも造詣の深い講師に、医学的な見地も踏まえて報告い
ただいた。

参加人数…オンライン二六人(うちネットワーク会議理事…五人)

・第二回 公開学習会

題 目…幕末長崎の第二開港の意義について

― 古写真・洋学資料・学校史から考える ―

日 時…令和三年七月二九日(木) 一八時〇〇分～二〇時〇〇分
会 場…長崎歴史文化博物館一階ホール

参加費…無料

講 師…姫野 順一先生(長崎外国語大学学長)

概 要…新自由主義に照らし合わせて、安政の開港以来長崎がたどつ
てきた歴史を古写真で紹介するとともに、日本が近世鎖国期
から長崎を通じて洋学の受容を継続してきたことが、開国後
も切れ目なく新たな技術や学問の導入を可能にしたことを
指摘される。今後、国民国家がグローバル世界においていか
に多様性の調和を維持していくべきかについての方策を示
された。

参加人数…会場二四人、オンライン一九人(うちネットワーク会議理事

・第三回 公開学習会

題 目…長崎開港四五〇年 世界を結ぶ海の駅長崎を往来する人々
日 時…令和三年九月一日(金) 一四時三〇分～一六時三〇分
会 場…オンラインで開催

参加費…無料

講 師…片岡 瑠美子 先生(長崎純心大学長)
概 要…長崎開港後ここから海外へ渡ったさまざまな人々の渡航先
での活動について御報告いただいた。

参加人数…オンライン二二人(うちネットワーク会議理事…四人)

※当回は、長崎純心大学博物館 長崎学講座と共同で実施した。

・第四回 公開学習会

題 目…伊勢御師の文書から見た江戸初期の長崎

― 町の成立・信仰・経済 ―

日 時…令和三年一月一九日(金) 一八時〇〇分～二〇時〇〇分
会 場…長崎歴史文化博物館一階ホール

参加費…無料

講 師…久田松 和則氏(富松神社宮司)

概 要…慶長年間から始まった長崎町衆の伊勢参宮を通じて、長崎の
町の成立、町衆の信仰、参宮を支えた経済、唐船貿易との関
係など、また伊勢宮鎮座の背景にあった特殊な信仰について
御報告いただいた。

参加人数…会場四六人、オンライン一八人(うちネットワーク会議理事
…二人)

・第五回 公開学習会

題 目：南蛮貿易の大村領誘致の背景

― 大友宗麟の思惑と国内流通ルート ―

日 時：令和四年一月三〇日（日）一四時〇〇分～一六時〇〇分

会 場：オンラインで開催

参加費：無料

講 師：岡 美穂子 先生（東京大学大学院准教授）

概 要：一五六二年の横瀬浦開港には大友宗麟の大きな決断が働いた

可能性を提示し、その後の長崎から上方へと至る貿易品の流

通経路の実態を考察することで、九州北部全体の経済的状況を

「街道」から検討した研究成果について御報告いただいた。

参加人数：オンライン五〇人（うちネットワーク会議理事：三人）

上の作品二七点を、長崎歴史文化博物館にて展示

四 職員による講演・講師実績

実施回数：二三回

聴講人数：七七三人（延人数、令和四年三月一日時点）

主催団体：九州藝術学会、長崎純心大学、NPO法人長崎史談会、長崎

開港四五〇周年記念事業実行委員会、長崎商工会議所、相山

女学園など一八団体

題 目：「長崎開港と「オールド長崎」」「長崎の風習と年中行事」「長

崎に残る中国の面影」「野口彌太郎《長崎の風》の変遷」など

二〇テーマ

③ 後継者の育成事業

(一) 長崎学児童研究コンクール

長崎市に関わる歴史、地理、伝統などの研究を通して、郷土に対する
関心を高め、郷土の歴史や文化を大切にすることを養うとともに、児童
の郷土研究を顕彰する。

応募資格：長崎市内の小学生

内 容：長崎市の各地域の歴史・地理・伝統・人物等の研究作品

募集期間：令和三年一月一日（月）～令和三年二月一日（水）

応募校数：一一校

応募作品：三―三三三

審査結果：長崎市長賞一点、長崎市教育長賞一点、長崎歴史文化博物館

長賞一点、長崎学ネットワーク会議賞一点、長崎外国語大学

長賞一点、入選二二点、奨励賞一六点、学校賞一校

作品展示：令和四年二月七日（月）～二月十三日（日）の期間、入選以

五 レファレンス対応実績

件 数：一一四件（令和四年三月一日時点）

内 容：「長崎の町屋について」、「長崎開港について」、「長崎の方

言について」、「長崎の民謡について」、観光雑誌の内容校正な

ど

内 訳：大学関係一件、メディア四六件、企業三件、学生二件、

一般二五件、他自治体三件、庁内三四件

六 メディア媒体への取材協力及び出演
件 数…二十七件

取材内容…長崎開港四五〇周年に関する解説、開港四五〇周年記念企画展「野口彌太郎と港の風景」取材、第六回長崎学児童研究コンクールについて、紀要『長崎学』第五号発行、精霊流し解説 など

掲載媒体…長崎新聞、毎日新聞、朝日新聞、NHK長崎放送局、長崎放送(NBC)、テレビ長崎(KTN)、長崎ケーブルメディアア(NCM) 計七媒体

七 学会・学校等への協力

件 数…四件

① 長崎市立桜町小学校「はじめよう！長崎学（総合学習）」（令和三年六月一八日（金））

② 長崎市立西泊中学校「シーボルトと長崎」（令和三年一月九日（火））
③ 椙山女学園高等学校修学旅行長崎市内研修（令和三年一月一六日（火））～一七日（水）、長崎游学の会（山口広助代表）との協働事業

④ 長崎市立西坂小学校「西坂小の校区の歴史」（令和四年一月二六日（水））

八 外部団体発行刊物への掲載

・赤瀬 浩「蝶々さんとピンカートンを結び付けた長崎のマッチングシステム」（新国立劇場「マダム・バタフライ」プログラム、二〇二二年）

・赤瀬 浩「長崎丸山遊廓―愛と金をめぐる物語」（『時空旅人「遊廓」』Vol.十六、二栄書房、二〇二二年）

【別表二】長崎学ネットワーク会議理事名簿（令和四年三月一日時点）

No.	団体名	代表者	理事
1	長崎大学	河野 茂	木村 直樹
2	長崎県立大学	木村 務	松尾 晋一
3	長崎純心大学	片岡 瑠美子	片岡 瑠美子
4	長崎総合科学大学	池上 国広	木永 勝也
5	活水女子大学	湯口 隆司	細井 浩志
6	長崎外国語大学	石川 昭仁	姫野 順一
7	長崎歴史文化博物館	水嶋 英治	水嶋 英治
8	長崎県文化振興・世界遺産課	土井口 章博	齋藤 義朗
9	長崎史談会	原田 博二	大田 由紀
10	長崎の風	黒田 雄彦	黒田 雄彦
11	長崎近代化遺産研究会	宮川 雅一	菊森 淳文
12	長崎市文化財課	濱口 一成	濱口 一成
13	長崎游学の会	山口 広助	山口 広助
14	長崎近世文書研究会	新名 規明	村崎 春樹
15	長崎市長崎学研究所	赤瀬 浩	赤瀬 浩